



5/26 芭蕉畑を手入れ

沖永良部芭蕉布会館（長谷川千代子代表）で栽培する芭蕉畑の管理作業が5月26日、同会館のスタッフや地元住民、役場職員らも協力し草刈りや肥料の散布を行った。参加者は重機や手作業で生い茂った草を刈り取った後、畑に丁寧に肥料を撒いた。

長谷川代表は「良い繊維を取るために管理作業が大事。集落の人や役場の若い職員も手伝ってくれて感謝している」と話した。芭蕉布の繊維を取り出すまでには、植え付けから3年以上経過したものが使われる。



5/27 消防団が水難救助訓練！

町消防団による水難救助訓練が沖泊漁港において5月27日、団員15人が参加のもと行われた。本格的な海水浴シーズンを前に水難救助に必要な知識と技術を習得する訓練で、ダイビングショップを経営する黒田卓真さんが講師を務めた。

訓練では、ペットボトルなど浮力を使った浮き方や救助者の担ぎ方、浮き輪の投げ方などを行った。また、海に落ちて自力で上がれない場合は、浮いて待つことを指導した。



5/30 中体連陸上大会開催

両町教育委員会による沖永良部中学校陸上競技大会が和泊中学校グラウンドにおいて5月30日行われた。当日は晴天であり、出場した生徒達は「走る！飛ぶ！投げる！」など多くの競技においてしのぎを削った。

各種目などにおいて上位に入った生徒は、名瀬総合運動公園陸上競技場にて行われる大会を経て、県大会へと出場する。島の子どもたちの活躍から目が離せません！



6/9 星槎大学と連携協定

2017年に沖永良部島にサテライトカレッジを開校した星槎大学（井上一学長）と、和泊、知名両町との協定調印式がおきえらぶフローラルホテルにおいて6月9日行われた。人材育成や新産業の創出など、島の振興に向け連携を深めていくことを申し合わせた。

調印式には、星槎大学の井上学長と細田副学長をはじめ、両町の町長や議会議長が出席した。



6/22 消防操法大会 優勝目指し激励

大島支部消防操法大会が6月24日大和村で開催されるにあたり、22日に役場庁舎前にて壮行会が行われた。本町からはポンプ車の部に正名分団、小型ポンプの部に竿津分団が参加。赤地副町長より、出場する消防団員に激励の言葉が送られた後、永田広次消防団団長より決意表明が行われた。各部門の優勝チームは県消防操法大会に出場することができる。